

**CSF(豚熱)継続発生！**

**豚熱ワクチン接種農場でも引き続きウイルス侵入防止措置の徹底をお願いします！**

昨年末、山形県・三重県のワクチン接種養豚場で相次いで豚熱が発生し、県内でも野生いのししにおいて陽性個体が継続して確認されています。

生産者の皆様は、ワクチン接種で安心することなく、引き続き以下のウイルス侵入防止策の徹底をお願いします。

- (1) 衛生管理区域へ人や車両の進入時の衛生対策  
衛生管理区域に入る際は、洗浄・消毒をしっかり行いましょう。
- (2) 作業着、手袋及び長靴の交換並びに交差汚染防止  
豚舎ごとの手指の洗浄・消毒、靴や衣服の交換等を行いましょ。靴や衣服等を交換する際は交差汚染に注意しましょ。
- (3) ワクチン接種農場における免疫を獲得していない豚群への対応  
ワクチン接種前の離乳豚や、ワクチン接種ができない出荷間近の肥育豚は、感染が起こりやすいので、特に注意しましょ。
- (4) 敷料の衛生対策  
敷料は直接豚に触れるものなので、保管の際はブルーシート等で覆い、野生動物や野鳥の接触がないようにしましょ。
- (5) 消毒液の選択及び交換頻度  
消毒に当たっては、用量・用法を守りましょ。
- (6) 農場内作業動線及び作業手順  
豚舎間の豚の移動は、できる限り消毒済みのケージ等を利用しましょ。
- (7) 教育訓練等  
飼養管理の衛生対策を従業員に周知徹底しましょ。

詳細は<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/domestic.html>をご覧ください。

異常をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで  
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728  
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018